

団体名:大門 DIVE! 実行委員会

活動名:よそ者目線で大門の昔と今をつなげる橋渡し!

日時:令和3年12月19日(日) 14時00分 ~ 16時30分  
場所:鵜飼在宅センター(中村区)

### ◆◆団体の紹介◆◆

中村区大門地区の外の地域に住むメンバーが、よそ者の視点で大門の魅力を発信する。イベントを開催し大門地区のファンを増やすとともに、新たに大門の住民となった層が地域活動に参加しやすい環境を作り、新旧住民をつなげることを目的とした活動。

### ◆◆活動の様子◆◆

今年、団体がメインに据えていた「街のアイコンとなるリヤカーワゴン」作り。時間をかけて、設計・製作したワゴンが、この日お披露目され、大門のまちを練り歩きました。

ワゴンは、学生であるメンバーが大門地域で関連する企業などと連携してアイデアを出し、木材やネジを使って作り上げたもの。

古い建物が健在する大門地域の街の個性でもあるタイルを前面に張り、ボード上の側面には子どもたちが書き込める黒板を貼り、椅子の収納も出来てちょっとした屋台にもなる楽しいものです。

地域の方に、ワゴンを紹介しながら、作った経緯や今後大門のまちでやろうとしている事をPR。集まった人々は、興味深そうに話を聴いてくれました。



またこの日は、もう一つのイベント「ワゴンのイラストぬり絵で缶バッチを作ろう!」も同時開催。会場として使った

「鵜飼在宅センター大門」はまだオープン前にも関わらず、地域の方に交流の場として使って欲しいという気持ちで快く使わせて貰えたとのこと。

子ども達は思い思いの絵を描き、それを大人が手伝いバッチにしていく様子は、子どもも大人も笑顔になる楽しいもの。また、「ワゴンをどう使ったらいいか?!」のアイデアも募りました。

地域の人たちに、自分たちのまち、自分たちのワゴン、そんな思いが芽生える一歩になった一日になったと感じました。

この団体の活動は、地域に住んでいる人ではなく、「大門」という地域に魅せられた外部の人達が、盛り上げようとイベントをやったり、地域のお店に顔を出して馴染みを作って連携しようとする点が、新しい取組みです。これからは他の地域でも、住民以外の目線で関わられるまちづくりが重要になってくるのではないかと思います。

今後のまちづくりのモデルケースの一つとなるであろうこの活動が、これからどのように地域に関わっていくかを見守り、応援していきましょう。